【一太郎 2012 承編】

■文書にブックマークを付けてジャンプできるようにするマル秘テク

本にしおりを挟むように、文書内に目印となるブックマークを設定できます。 論文や小説、 企画書など、複数ページにも及ぶ文書などで、見出しや単語にブックマークを設定してお けば、素早くジャンプできて便利です。

 ブックマークを挿入したい位置にカーソルを移動し、ジャンプパレットの[ブックマ ーク]で 「「「ブックマークを追加]をクリックします。



2. ブックマークが追加されます。同様に、任意の場所にブックマークを設定していきま す。



3. ブックマークを右クリックして [ブックマークの削除] を選択すると、ブックマーク を削除できます。[ブックマーク名の変更] を選択すると、任意の名称を付けられます。



 $\downarrow$ 

4. ブックマークをクリックすると、その位置にジャンプします。

■ 一太郎 - [エッセイ.jtd *]	The second se	
1) ファイル 編集 表示 挿入 書式 罫線 ツール	- ウインドウ ヘルプ アドイン	_ 0 ×
🗅 🤷 • 🖆 🛃 • 🚍 • 🖕  🖄 🗈 💼	う ゆ 🔎 🛃 🔜 😰 🛛 🕸 🕸	👱 🔚 🕘
□ 息杰 ▼ MS明朝(標準) ▼ 13.0(標準) ▼ B I	$\underline{U} \star \underline{\mathbb{R}} \star \equiv \Xi \equiv \Xi$ TAB	4
±+50 at R-	Ð	_ <b>5</b>
位置 フックマーク名 1頁 2行 - はじめに	一 はじめに回	4
1頁17行 二 花なら僕が買:		A
2頁21行 三 コスモポリタ:		「卿
	僕は、いま新宿駅のホームに立って山手線を待っている。これから僕	
	はどこへ行こうとしているのか、数年前迄はこの雑踏を見ると人間の息	
101 · -	吹を感じ、自分もその社会の一員になったような気がして、なんだかど	- -
· •	こからともなく力がわいてくるような気持ちになったはずじゃなかった	8
	のか。いま目をつむると僕の頭の中は4年前にタイムスリップし、僕の	
	脳裏にその日の光景が鮮やかにフラッシュバックされる。回	
	ここはブラジルの、いや南米の大都市サンパウロ、初夏の強い直射日	
₽ ·	光の下で、車のフロントガラスごしに見える町の風景に、なんだか異邦	
	人に人を引き付ける強烈な匂いを感じる。一昨日の昼まで僕は東京の雑	
	踏の中にいたはずだ。あの日本の大都市にいて、人間の多さに僻々して、	-
	一日も早く日本を抜け出したかったことは良く覚えている。そうかわず	* *
m + + + D Sheet1 +	■ 1頁 2行 1字 100% * ■	3
● ● ● ● Sheet1 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	ー日も早く日本を抜け出したかったことは良く覚えている。そうかわず ■ 1頁 2行 1字 100K・■	4 ¥